

## 特別講演 2

### 「EPA/DHA と生活習慣病

### ～ $\omega$ 3 系多価不飽和脂肪酸による脂質・免疫・炎症への影響～」

東邦大学医療センター佐倉病院

糖尿病・内分泌・代謝センター 教授

龍野 一郎 先生

$\omega$ 3 系多価不飽和脂肪酸の中性脂肪低下に代表される脂質代謝プロファイルの改善作用は有名であるが、加えて抗炎症作用が注目を集めてきた。ハーバード大学のグループは  $\omega$ 3 系多価不飽和脂肪酸から新たな代謝産物(レゾルビン・プロテクチンなど)が生成されることを発見し、しかもこれらの代謝産物が強力な抗炎症物質であることが証明した。魚油  $\omega$ 3 多価不飽和脂肪酸が生体の恒常性、そして健康維持に重要な役割を担っている事が続々と明らかにされて来ている。

一方、脂質異常症治療におけるゴールドスタンダードであるスタチン投与により、生体内の多価不飽和脂肪酸バランスが変化することが報告されており、スタチン残余リスクへの関与が示唆されている。多価不飽和脂肪酸バランス変化のメカニズムと、今後の脂質異常症治療へのアプローチについて紹介したい。